



# 第36回ふれあいプールレクリエーション

去る7月11日、高槻市立市民プールにて4年ぶりの開催となる「第36回ふれあいプールレクリエーション」が開催されました。約60名の方が参加され、音楽にあわせてリズムミカルに水中で踊ったり、水中ウォーキングや貝、スティック拾い等、夢中で楽しんでいました。また、たくさんの方のスタッフに協力いただき、付き添いや水中での激突防止、安全面のチェックなどに注意を払い、無事に終了しました。普段触れることが少ないプールの水に親しみ、障がいの種別や世代を越えてふれあいと交流を深める



高槻市主催で行われ、高槻市福祉協議会・高槻市ボランティア連絡協議会・高槻日赤技能奉仕団・高槻市スポーツ少年団・公益財団法人フィットネス21事業団の協力および障がい者スポーツ振興懇話会の協賛のもと開催しました。このふれあいプールレクリエーションについては毎年楽しみにしておられる方も多く今後も継続していきたいと思っております。皆様のさらなるご協力を賜りたいと考えております。



最後に、プールレクリエーションに参加された方の感想をご紹介します。

## 「第36回ふれあいプールレクリエーション」に参加して

やまひこ園 大和 晋

ふれあいプールレクリエーションに参加した「Hさん(40代男性)」に感想を聞いてみました。

大和「プールレクに参加してどうでしたか？」  
Hさん「しっかりと泳げてよかった。」

「エアロビクスが少し長かったが楽しかった。」  
「ボールを投げたり、輪投げをひろくやつが楽しかった。」  
大和「普段クラッチを使って歩いていると思いますが、水中ではどうでしたか？」  
Hさん「一人で、体が浮く棒にうまくって水に身体を浮かせて嬉しかった。」  
大和「次回も参加したいですか？」

Hさん「楽しかったのでまた参加したい。」  
普段はクラッチを使って、周囲に気を付けながら歩行しているHさんにとって介助者の見守りだけで、自由に水の中を移動できる機会はとても楽しかったと思います。また、私も普段作業をしている利用者の姿とは別の顔が見れて、とても楽しかったです。

## 第33回ふれあいプールレクリエーションの集い

去る3月17日、古曽部防災公園体育館にて「第33回ふれあいレクリエーションスポーツの集い」が開催されました。100名近くの方が参加され、フライングディスクやストラックアウト、音楽にあわせてリズムミカルに踊るリズムゲームなどを楽しんでいました。たくさんの方のスタッフにご協力いただき、ゲームの説明や安全への配慮もあり、無事に終了しました。冷暖房設備完備の体育館の中で快適に、楽しく過ごせたのではないのでしょうか。

このふれあいレクリエーションスポーツの集いについては毎年楽しみにしておられる方も多く今後も継続していきたいと思っております。皆様のさらなるご協力を賜りたいと考えております。

この事業は高槻市障害児者団体連絡協議会・高槻事業所連絡会・高槻市主催で行われ、高槻市社会福祉協議会・高槻市ボランティア連絡協議

最後に、ふれあいレクリエーションスポーツの集いに参加された方の感想をご紹介します。

# 第23回大阪府障がい者スポーツ大会

今年も、大阪府障がい者スポーツ大会が左記の日程で開催されました。各競技で熱戦が繰り広げられ、高槻から参加された選手も大活躍でした。

優勝することや、メダルを取ることだけでなく、自己ベストを更新する、楽しむ、交流を図るなど、様々な目標や目的を持って参加されています。

競技後の喜びや悔しい表情は、競技にかける意気込みの裏返しで、見る人にも感動を与えます。

同じ高槻市から出場していることで生まれる一体感で仲間を応援したり、他市の選手であっても、素晴らしいプレーには自然に拍手が出たり

するのは、スポーツ大会の醍醐味ではないでしょうか！

大阪府障がい者スポーツ大会は、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねており、出場者の中から優秀な成績を残された選手は、全国大会に派遣されます。

今年も、10月28日(土)～30日(月)で「燃ゆる感動がこしま大会」が鹿児島県で開催されます。高槻市からも13名の選手が派遣されることが決まっています。

来年は、佐賀県で開催される予定です。全国大会を目指して参加してみませんか？！

令和5年5月14日(日)	陸上競技:万博記念競技場
令和5年5月20日(土)	水泳:東和薬品RACTABドーム
令和5年5月21日(日)	アーチェリー:浜寺公園アーチェリー場
令和5年5月21日(日)	ボッチャ:ファインプラザ大阪
令和5年5月27日(土)	ボウリング:牧野松園ボウル
令和5年5月28日(日)	フライングディスク:ファインプラザ大阪
令和5年6月3日(土)	卓球:サウンドテンプルテニス: 東和薬品RACTABドーム

## 第33回ふれあいレクリエーションの集いと参加して

社会福祉法人 せうきゅうきりぎり 阿部 要次

2019年が最後にコロナで3年間も中止になって待ちに待った再開です。

職員会議で4年前の段取り、体制を振り返りながらの参加です。

「せうきり」も新しい職員が増え今回初めての参加の職員、会場のサポートの人達も入れ替わっている事を想定しながら当日の支援体制の確認をしました。

当日は、メンバーも職員も緊張感を持ってのスタートでした。

初めての参加の人達が多く、最初はバタバタ感がありましたがメンバーは直ぐにいつものように楽しめていました。

サポートの人達も入れ替わっているように段取りはベテラン職員、メンバーの方がスムーズでした。

その中でもメンバーはサポートの人達との「ふれあい」で楽しくスポーツに取り組めていました。

メンバーの毎日は職員の支援だけで変化が少ない生活になりがちです。職員以外の人達との「ふれあい」は貴重な体験になります。

「長靴飛ばし」の競技が無かったのが残念でしたが楽しい時間を過ごせました。



「ふれあいレクリエーションスポーツの集い」の日はメンバーも職員もとても大きなイベントです。来年も開催される事を楽しみに「長靴飛ばし」が復活する事を期待して、サポートの人達、参加された事業所のメンバー、職員の皆様、楽しい時間をありがとうございました。お疲れ様でした。